

こんにちは



第 100 号
9月定例会
令和4年10月20日

豊丘村議会 です



元気いっぱい敬老会

—伴野区民会館—

(詳細は25ページをご覧ください)

令和3年度決算の概要	2～3ページ
令和3年度決算をチェック	4～5ページ
第3回定例会	6～7ページ
令和4年度補正予算	8ページ
一般質問	9～19ページ
委員会報告	20～23ページ
北部ブロック・広域連合議会	24ページ
秋の風物詩	25ページ
みんなのページ	26ページ

歳入 村税は前年比微増の6億8千万円余、ふるさと納税寄付金は過去最高の9億2千万円超。小園の宅地完売など、自主財源は前年比1千7百万円増。

歳出 前年度繰越和2年度豪雨災害復旧事業や村道間沢線整備事業、社会資本整備総合交付金事業の、広域農道蛇川大橋を含む橋梁の修繕の他、役場庁舎空調設備更新、村内LED街路灯整備が完了。

また、県の元気づくり支援金の最終年度となるチョウザメ養殖振興事業では、コロナ禍で延期されたイベントを実施。

当年度事業では、道の駅や公園整備、役場庁舎空調整備など、ハロー事業が完了し、総務費・農林水産業費、土木費が減少した一方、コロナ禍における対策事業として、民生費・衛生費、また、令和3年5月・8月の豪雨による災害復旧費が前年より増加した。

新規事業では、村営ケーブルテレビの新方式への移行。「とよおか旅時間」を拠点とした観光振興。村営バス用マイクロバスの更新。村民体育館の改修工事など。水道事業会計では、水道管本管更新事業が本格的に開始された。

また、令和2年度繰越金を財源に財政調整基金へ3億円、公共施設の改修等の将来負担を見込み、「公共施設等維持整備基金」を新設。2億円を積み立てた。

人口増対策費

- 住宅用地取得助成金（前年+8）32件 1,920万円
- 住宅新築助成金（前年+11）43件 2,528万円
- 若い世代の住宅取得補助金（前年+9）41件 2,026万円

移住定住事業費

- ワーキングホリデー事業（17名）76万円



住宅建設が進む役場周辺

清掃費

- 一般廃棄物処理 埋立ごみ収集立会い報償費 47万円
- 不法投棄監視員 22万円
- 燃やすごみ 659.1t = 664万円
- 容器包装プラビニ 70.7t = 375万円

防災費

- 福祉避難所備品購入・同報無線他 通信回線使用料他 = 330万円
- 自主消防組織交付金（6地区）210万円

日本型直接支払い事業費

- 多目的機能支払交付金事業 367ha 2,200万円

水産業費

- チョウザメ養殖振興事業 イベント経費・水槽ひさし工事・外壁工事 = 45万円

教育振興費

- 準要保護児童学生就学援助費（65名分）496万円
- 小中学校学習支援等教育関係村費講師等（17名）2,405万円

障がい者福祉費

- 障がい者自立支援給付費 1億8,887万円

林業振興費

- 森林環境税整備事業 森林管理制度意向調査業務委託 = 76万円
- 森林経営管理制度森林詳細調査業務委託 = 2カ所 47万円
- 森林環境整備基金積立金 = 376万円
- 松くい虫特別防除（空中散布）事業 = 439万円



手入れが必要な山林

総務費（企画費）

- 中学校東斜面整備 斜面草刈り管理 75万円
- 遊歩道開設 126万円



中学校東斜面

道路新設改良費

- 橋梁定期点検 41橋 1,018万円
- 急傾斜地崩壊対策事業（毛賀地南）1,583万円

新型コロナ禍の村民生活支援と 災害復旧及び未然防止事業に注力 令和3年度 一般会計及び特別会計決算の概要

歳入総額86億7,775万円 歳出総額71億9,681万円

～広報とよおか11月号を併せてご覧ください～

一般会計歳出

56億8,716万円

内 前年度繰越事業費 7億2,463万円

令和4年度への繰越事業費を除いた実質収支は
10億7,345万円（前年比+1億6,894万円）

一般会計歳入

当初予算の50%増 69億8,237万円

自主財源比率は42%

コロナ禍の生活支援

新型コロナ感染症対策
地方創生臨時交付金活用事業等

ここでは、質疑があった件を中心に決算の概要を掲載します。
決算審査の着眼点
★予算が適切に執行されているか。
★前年度と比較して特別な事情があったか。
★次年度への繰り越しは適正か。

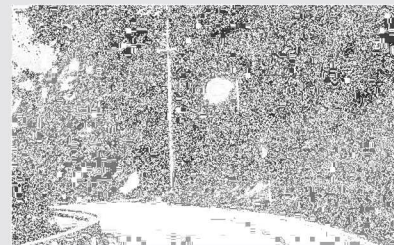
商工費

- テイクアウトお食事券発行（2回） = 1,242万円 + 348万円
- プレミアム商品券発行 = 2,682万円
- 「結」お弁当配達事業 = 78万円
- 住宅リフォーム助成金事業（コロナ特別枠工事費 × 20%上限 20万円） = 2,190万円



総務費

- LED街路灯更新整備工事（繰越分 + 当年度分） 2,615万円 + 753万円



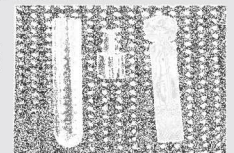
LED化された広域農道沿いの街路灯

民生費

- 住民税非課税世帯への家計支援 = 1世帯1万円商品券配布385万円
- 住民税非課税世帯と子育て世帯へ灯油購入補助 = 1世帯1万円商品券配布963万円
- 村内福祉施設へ暖房用灯油燃料高騰分補助 = 94万円
- 非課税世帯10万円臨時特別交付金 = 3,108万円
- 自宅療養者への食料品配送支援 = 0円

衛生費

- 抗原検査簡易キット配布事業（テスト用及び医療用、有償・無償含む） = 150万円
- 新型コロナウイルス抗原検査等半額助成 = 20万円



抗原簡易検査キット

国民健康保険特別会計（村独自）

- 国保加入事業主のコロナ療養休業中の傷病手当金支給 5千円×日数 = 7万円

令和3年度決算をチェック 9月7～8日

— 委員会での決算審査の質疑より —

中学校東斜面の管理について

質問 中学校東側斜面の管理はどこに委託しているのか。
回答 草刈り作業は例年と同じNPO法人豊丘総合型スポーツクラブに、遊歩道開設事業は小椋建設に委託。
質問 草刈管理は良好には見えないが。
回答 草刈りは年に3回くらいで確認時期により状況も違う。

福祉タクシース券の取得について

質問 福祉タクシース券の利用実績延べ1万1800件、1725万円。73歳以上対象者の取得率はどうか。
回答 8月30日現在の対象者数1385人のうち交付数が895人、交付率は65%。
要望 急病の際にタクシース券を利用できるよ

うに、早めに交付を勧める広報を求める。

村管理の街路灯について

質問 電球が切れた場合や山間地で灯具が竹で覆われている場合にどうしたらいいか。
回答 連絡いただければ村が対処する。LED化で電球切れの件数は減った。竹は地区に除去を依頼する。

人口増対策について

質問 住宅新築助成が増加したが、戸建て賃貸住宅の居住者が利用した事例はあるか。
回答 年1・2件ある。
質問 ワーキングホリデーやお試し住宅利用から移住につながった事例はあるか。
回答 昨年度中は無い。
要望 ワーキングホリデー事業の主要な目的は移住定住につなげる

こと。取り組みを期待する。

障がい者自立支援について

質問 障がい者自立支援給付費の内容は。
回答 障がいのある方が、こぶし園など障がい福祉作業所で受けた生活介護などのサービス量に対し、国から事業者に支給される。

こみの不法投棄について

質問 不法投棄監視員の業務内容と巡回監視の結果はどうか。
回答 月2回月曜日に主に河川沿いを巡回監視。少量のこみは回収。多い場合は警察に通報、捜査する。
 最近のこみゼロ運動中に蛍光管投棄があり、役場が捜査し対応した事例がある。

多面的交付金支払制度について

質問 道路作業の日当の算定基礎は何か。
回答 道路作業の日当は、農地維持交付金に含まれ、各区の田畑の面積に単価を掛けた金額が交付され、各区で事業毎に算出し配分している。
質問 次年度への持ち越し金の会計処理は。
回答 村内9地区の広域運営協議会口座（1期5年）で次年度に引き継ぐ。

有害鳥獣駆除について

質問 有害鳥獣駆除事業でハクビシンの檻14台は何処へ設置したのか。鹿を捕獲した後の処理について伺う。
回答 檻は地区の班に2基ずつ適地に設置。捕獲した鹿は、山中へ埋設かジビエ加工する。
要望 福祉施設「こもれび」で、ドックフードに加工販売していたら、大事な命をいただくもの。有効活用を願う。



田村にある株式会社こもれび
 （鹿肉など、骨まで余すことなく）
 ペットフードに加工販売

コロナ対策商品券発行について

質問 プレミアム商品券利用数は店舗に偏りがある。事業の効果について伺う。
回答 対策として全店舗にポスターを配布。結果を検証し、より多くの店舗が利用しやすい方策を検討したい。

チヨウザメ養殖事業について

質問 3年で区切りとなるチヨウザメ事業の総括は。また、水槽の底と外壁工事の効果は。
回答 今年から振興協議会で運営している。現存の50匹程度のチヨウザメは県と村の公費で購入。水槽も村の費用に依る。得られる収入の抜きの結論を早急に出したい。水槽の工事後も、藻の発生で鑑賞しにくい状況。対策が必要。



三次原山林：飯伊で初、森林環境税を活用した整備事業を予定

森林整備について

質問 森林環境整備事業では、整備事業費ゼロ、調査業務費も予算より低い理由は何か。
回答 コロナ対応などで調査業務のみとなった。今年度は飯伊で森林環境税活用事業第1号を三次原で実施を予定している。

橋梁の定期点検について

質問 5年ごとの橋梁の定期点検の結果は。
回答 長沢線淀橋は、定期点検後の詳細点検で塩カルによるサビ等の老朽化で改修を実施。その下流の巻が城橋も同様の状況。今後の詳細点検で判定基準「3」以上になれば、対策を行う。

就学援助について

質問 準要保護児童生徒就学援助の内訳と増加している。要因を伺う。
回答 北小17名、南小34名、中学校14名。
 コロナ禍もあるが主にひとり親家庭が増えたことによる。

高額医療費の増加について

質問 高額療養費が増加した大きな要因は何か。
回答 入院件数が58件増加したことによる。がん、脳血管疾患の長期療養と膝や股関節の手術も多かった。

福祉避難所について

質問 福祉避難所の機能は何か。
回答 地区避難所で健常者と一緒に避難することが難しい人たちが

水道料金について

安心して利用できる環境を提供する。
質問 水道料の滞納解消の対策、給水停止措置をとった事例はあるか。
回答 滞納者などと連携して滞納者に連絡。滞納により納付を勧めている。滞納人数は25人程。給水停止は行っていない。

水道料金改定について

質問 滞納総額358万円の内、最高額はいくらか。差押えは考えないか。
回答 最高額は個人で40万円超。滞納は水道料以外税金等もあり、差押える財産がない人もいる。庁内は事務の連携は執れている。
提案 税の公平性から現状の対策で不十分。副村長をトップに対策委員会をつくるよう検討願いたい。
質問 水道料金改定の

下水処理の汚泥について

質問 下水処理で出る汚泥の処理費用と処理方法を伺う。
回答 焼却処分。豊丘浄化センターは600万円、河野の農集排施設は180万円、伴野の農集排施設は240万円。

豊丘浄化センターでは委託業者が焼却処分後の残渣を肥料化して専門業者に販売している。また、河野と伴野の農集排施設の汚泥は竜水園に持ち込み処理している。



第3回 定例会

佐原線改良工事用地購入議案 議会議員の報酬額改正議案

行政手続きのオンライン化議案、等々 全議案を全会一致で可決

令和4年第3回定例会が8月31日に開会し、9月21日の再開日をもって閉会となりました。この定例会では、令和3年度決算の審議とその認定があります。そこで決算関係につきましては、2〜5ページに特集してありますので、そちらをご覧ください。また、令和4年度の補正予算の審議内容につきましても、8ページに記載しましたので、そちらをご覧ください。ここでは、それらの2項目を除いた主な議案の審議の内容と結果を報告させていただきます。

議案第46号 条例の一部改正

選挙費用の 補助を増額

国の増額改定に準じ、議員及び村長の選挙運動の公費負担額を改め、次の選挙から選挙費用の補助を増額実施する。

例えば、選挙カー1台15,800円から16,100円に増額する。

〔審議結果〕

全会一致で可決

議案第47号 条例の一部改正

議員報酬を増額

村の特別職報酬等審議会の答申に応じ、議員の報酬を次の選挙後から増額する。

例えば、一般議員の場合、議員報酬を月額153,000円から168,000円に増額する。議長は、255,000円を265,000円とする。副議長、常任委員長等も増額する。

〔審議結果〕

全会一致で可決

議案第48号 条例の一部改正

行政手続きの オンライン化

国のデジタル化推進に応じ、村の行政手続きも、条例交付の日からオンライン化を進めていく。

例えば、書面により行う申請などに関し、オンラインにおいても可能とする。

〔審議結果〕

総務産建委員会に付託して審議後、

全会一致で可決

議案第49号 条例の一部改正

タブレットの 有償貸与

現在年齢が75歳以上など、要件を満たす高齢者には防災行政情報受信端末のタブレットを無償貸与しているが、要件を満たしているなくても令和4年10月1日より、月額550円で借用可能にする。

例えば、75歳未満でも月額550円で借りることができる。

〔審議結果〕

全会一致で可決

議案第50号 条例の一部改正

非常勤職員の 育児を支援

国の法令改正に準じ、令和4年10月1日より、村の非常勤職員においても育児休業を

取得しやすくする。

例えば、育児休業をとることができない要件の緩和や、子が1歳以降の育児休業の取得について要件の柔軟化を行う。

〔審議結果〕

総務産建委員会に付託して審議後、

全会一致で可決

議案第53号 財産の取得承認

村道佐原線の 道路用地購入

村道佐原線道路改良事業に伴い、道路用地を買入れる。場所は広域農道との交差点から漆沢農業用溜池付近まで。取得地積合計17,956.13㎡。

取得予定価格合計9,249,708円。

〔審議結果〕

全会一致で承認

議案第54号 財産の取得承認

「村の駅とよおか」 の事業用地購入

平成29年に、当時の「村の駅とよおか（仮称）」現在の「道の駅南信州とよおかマルシェ」の事業用地を買

い入れたが、議会の議決を得ていなかった。で、この定例会で追認という方法で議決を得るもの。取得地積合計12,726㎡。取得価格合計140,702,722円。

〔参考〕1件700万円以上かつ5,000㎡以上の土地の取得に

は、議会の議決を必要とする。

〔審議結果〕

全会一致で可決



改良工事が計画されている村道佐原線（木門地籍）

議案第1号 陳情第1号

不登校生徒支援で 意見書の提出を

不登校の児童生徒に学習機会を確保するた

め、経済的支援制度を確立するよう国に意見書を出してほしい、との陳情書が、村民の方等から提出された。

〔審議結果〕

社会文教委員会に付

託して審議後、全会一致で可決
それに基づいて作成された国会や関係省庁へ提出する意見書も全会一致で可決

議案第55号 条例の一部改正

コロナ傷病手当金 支給期間を延長

コロナ感染者への国民健康保険傷病手当金の支給を、国の方針変更に基づき、令和4年9月30日から12月31日まで延長する。

〔審議結果〕

全会一致で可決

議案第56号 契約の変更承認

堂平線の 道路改良費増額

村道堂平線堂平の道路改良工事費が、残土過多で当初の41,888,000円から52,833,000円に増加したため、工事契約変更による議会の議決が必要になった。

〔参考〕工事金額が5千万円を超える契約には、議会の議決を必要とする。

〔審議結果〕

全会一致で可決

お知らせ

「いどばた会議」しませんか

日頃感じておられることなど、皆さまの声を聞かせください。少人数でもかまいません

電話：35-9063
FAX：35-8355

一般質問 —10人の議員が村政を問う—

新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえで質問をしております。

(1日目)

1. 川野 孝子 (10 ページ) 1) 新型コロナウイルス感染者拡大についての対応について
2. 武田 篤子 (11 ページ) 1) 野良猫を増やさない対策について
2) 今年度のとよおかまつりについて
3. 唐澤 克己 (12 ページ) 1) 森林経営管理制度への取り組みの進展状況について
2) 学校支援員制度の活用状況について
4. 平澤 恒雄 (13 ページ) 1) がん対策と患者支援について
2) 詐欺・迷惑電話の防止について
3) スマホによる道路等破損の通報について
5. 井原 康明 (14 ページ) 1) 公共施設の利用制限の解除について
2) 子どもカフェ関係について
6. 壬生眞由美 (15 ページ) 1) 竹林の管理と里山の再生について
2) 地球温暖化防止の一つの取り組みについて

(2日目)

7. 滝川 利秋 (16 ページ) 1) いまだ未整備の補助金交付規則について
2) 今年始まるお米の購入補助券の運用について
8. 前沢 光昭 (17 ページ) 1) 行政の役割と住民負担の軽減
2) 小児のコロナ感染時の対応とワクチン接種
9. 唐澤 健 (18 ページ) 1) 活水器の設置について
2) コロナ対応について
10. 松下 亨 (19 ページ) 1) 広域行政の現状と課題及び情報提供の拡充について
2) 多様な農業者を育成・支援する施策の拡充について

【一般質問の申し合わせ事項】

- ・ 通告期限は議会運営委員会において会期日程を考慮しつつ、その都度協議、決定する。
- ・ 1 議員の発言時間は30分を限度とし、質問回数は制限しない。
- ・ 発言残り時間5分前に呼び鈴を1回、残り3分前に呼び鈴を2回鳴らす。
- ・ 発言内容は「回答を求める発言」であるか、「提言」であるか明確にする。

令和4年度 一般会計第3号、4号 補正 介護保険特別会計第1号

補正予算案3件を全会一致で可決。
概要を報告します。

一般会計補正第3号 5億2,770万円追加

歳入

地方特例交付金・地方交付税の確定、及び令和3年度決算の確定による繰越金の追加。

減債基金繰入の取りやめ、臨時財政対策債発行可能額確定による減額など。

歳出

説明、主な質疑など

○会計年度任用職員共済分が社会保険等から、市町村組合負担に変更になるための細節変更。(金額変更は無い)

○マイナンバーカード出張申請の機、椅子リース料8万2,225円。

問 出張申請の場合、郵送での受け取りができないようだ。仕組みは。業者委託の申請で

は、個人情報のため現場での本人確認ができない。後日、本人確認し郵送される。

○新型コロナウイルス検査簡易キット5千セット購入費325万円。

問 120万円の収入が掲載されているが、個人負担は240円か。

答 1千セットは学校や施設へ無料配布する。4千セットについては300円の個人負担をお願いする。

問 5千セット購入の根拠は。

答 これまでの状況を勘案して決めたが、まだ不足する恐れもある。

問 キットの使用期限はあるのか。答 2年位。



購入予定の自転車

○レンタルサイクル用自転車3台購入費40万円。自転車消耗品等購入費60万円。

問 詳細説明を。消耗品とはどのような物か。

答 自転車は電動ではない物、ファミリー層向けに購入。消耗品はチェーンやブレーキパッド・オイルなど。

○農地中間管理事業活用遊休農地再生事業60万円。

問 担い手が3分の1を賃借料として負担することになっているが大丈夫か。新田地区の

賦課金や税金は、借り手貸し手どちらが持つのか。

答 支払いができるよう調整できている。賦課金は地権者、税金は名義人が相続人代表者が納める。

○森林環境保全整備事業(PCB処理促進対策業務委託)160万円。

問 どのような事業委託なのか。

答 鉄骨に塗られている塗料の中にPCBが含まれている可能性がある

介護保険特別会計補正第1号 4,850万円追加

一般会計補正第4号 120万円減額

歳入

会計年度任用職員共済分が社会保険等から市町村組合負担に変更になるための細節変更。

令和3年度分介護給付金(国、県)の負担金返還。予給付ケアプラン作成委託料など。

○新型コロナウイルス検査簡易キット、無料化に伴い個人負担見込額減。315万円。予備費減額315万円。

歳出
新型コロナウイルス検査簡

あるため調査するもの。
○公共施設等維持整備基金積み増し2億円。

○畜産飼料高騰対策支援事業補助金700万円。

○村民グラウンド照明LED化設計管理委託・工事費6,650万円。

○土地改良事業関係1,230万円。
○道路維持補修工事関係2,100万円。
○水路改修工事費770万円。



野良猫を増やさないための手術補助を

答 飼い猫への補助の検討を始めたい

武田 篤子 議員

質問 野良猫に関連した苦情や困りごとの相談はどのようなものがあり、どのくらい村にきているか。

建設環境課長 「敷地内に猫が侵入し、糞尿をされる困る」「置き餌をして、周辺の地域一帯まで臭くて困る」など年5、10件ほど。

質問 以前は野良猫の引取りは村で保健所に持っていくてくれたり、檻をかけ捕まえたというところが、現在は個人になったと聞く。野良猫への、苦情に対し、現在、村としてどのように対処しているのか。

建設環境課長 平成27年、保健所の積極的な捕獲を行わないという方針を受け、野良猫の引取り、保護は行っていない。侵入を防ぐため、忌避剤や水まき、とげのあるマット、超音波装置等紹介している。

質問 不妊去勢手術



手術後、右耳（雄の場合）をカット。その形から「さくら猫」といわれる。

（以下手術）をしていない飼い猫も野良猫を増やす一因になっている。飼い猫への手術に補助をつける事をどう思うか。

建設環境課長 飼い猫に対する不妊去勢の制度を作っている。来年度に向け検討を始めた。

質問 下條村では、飼い主がいない猫に手術をして放す事業、「TNR活動」を行政が全額負担して行っている。TNR活動（捕獲、N（不妊手術）、R（リターン（元の場所に戻す）の略。一代限りの命を全うさせ、苦情や殺処分を減少につなげる活動に予算を付け行うことについての考えは、村長 命の大切さを訴える素晴らしい活動。時代に合った猫対策をしていくことは必要。研究を始めたい。

提言 野良猫の処分を住民まかせにするのではなく、野良猫の数を増やさないため、苦情を減らすために、行政としてもできる対策を取る、という意味でも、この事業を予算付けしてほしい。

質問 議会からも代表が出て、実行委員会が立ち上がり、計画が進められているようだが、今年度のとよおかまつりは、これからの地域でのコロナ感染者数の動向によつては、中止もありうるのか。

総務課長 最終判断は11月1日に行う。

質問 マスクを外しての会食は感染リスクが高まり、特に気をつける必要があると思う。飲食ブースの対応について、里山汁の振る舞いへの対応は。

総務課長 飲食ブースへの出店は飯伊地区限定としテントの間隔は2m程取る。飲食テーブルの配置間隔も広め、基本片方向に座るテーブルの消毒を行うなど

今年度のとよおかまつりは
答 最終判断は11月1日

質問 感染予防対策を行う。質問 神興と三国は行われないというが、打ち上げ花火についての感染予防対策は。

総務課長 音楽花火は中止、昨年並みの花火の打ち上げを予定。会場内では、密にならないよう整理を行う。

質問 全体を通して、密を作らないための方策や、感染予防のための対策は。コロナ以前の祭りとの違いは。

総務課長 体温測定、手指消毒の徹底を図り、実施済の方に日替わりのマスクシールを配布して確認する。シールの確認により里山汁を配布。以前より縮小した形で調整中。密を作らないために屋内での催しは止め、たむらんど駐車場や、役場中庭なども祭り会場となる。



どういった状況の村民が検査キットを手に入れられるのか

答 希望する村民に無料で配布する

川野 孝子 議員



検査キット

質問 初歩的なことを聞く。喉が痛くて熱も出た。私たちはまずどうすべきか。

健康福祉課長 村で用意している抗原検査キットで検査をしてみよう。

質問 この検査キットの使用についても高齢者には結構きついと聞か。

健康福祉課長 窓口でお渡しする時に注意事項等案内している。

質問 今定例会の補正で5000セットの購入予算が計上されている。村の在庫状況

と、どういう状況下の村民が検査キットを手に入れることができるのか。

健康福祉課長 令和4年度当初予算で用意した1500セットの検査キットは配布済みになっている。追加発注し現代の在庫は900セットとなっている。陽性の疑いがある濃厚接触者・施設利用のため、入院患者との面会のため陰性の確認をする検査の場合にお渡ししている。

質問 有料でいいのか、明日

後遺症に悩む人たちへの
相談窓口とは
答 日常生活の支援策に
努める

質問 新型コロナウイルスに感染後、倦怠感や呼吸困難等の症状が続くことがある。関節痛のため歩行困難で仕事に行けなくなった人への対応は。

健康福祉課長 困りごと相談窓口を開設した。その後相談は無い。支援策として生活支援ヘルパーの派遣、期間を限定して福祉タクシー証の発行、資金の貸し付け等相談内容に

応じた対応を予定している。

質問 感染予防対策として行動制限を伴わない取り組みというものが、正しい対応の中、村の行事、事業についてもばらつきがあるが、地区のミニデイも中止がずっと続いている。中止の判断はやむを得ないという思いと元来な地区の人たちの顔が見られない残念な思いのジレンマが続いている。

村長 一番怖いのはコロナにかかることより人との触れ合いがない中で認知症が進む。家族のバランスが悪くなる。また、精神的被害が健康被害につながる。この方が深刻だ。敬老会、デイサービス、ミニデイ等集まる時には検温で充分だと思いが、抗原検査をやった始めるといふことであれば、村としても用意させていたきたい。

の一般質問を機に周りの町村を確認し、無料で配布している状況がわかった。豊丘村としても来週から、ひとりにひとつではなく、必要な家庭には配布する状況に変更していきたい。

健康福祉課長 ミニデイについては村が社協へ委託している事業で、中止の決定は社協と利用者の協議の上判断をしている。

質問 自由に顔を見て話をし、励まし合ったことが全くなかった。3年、という異常な状況が続く。高齢者の孤立は本場に深刻である。村長としてこの状況をどう考えるか。



男性トイレにサニタリーボックスを

答 庁舎や保健センターへの早期設置に努める

平澤 恒雄 議員

質問 村の前立腺がん検診の受診状況と、がんが疑われる検査結果について聞く。

健康福祉課長 令和2年度は受診者104名、要精検者12名、がん疑い2名、令和3年度は受診者119名、要精検者11名、がん疑い2名、令和4年度は受診者101名、要精検者9名、がん疑い1名。受診者の1%ほどに、がん疑いがでる。

質問 がんが疑われる検査結果が出た場合の、対応について聞く。

健康福祉課長 要精検者には検査機関から紹介状がでるので、泌尿器科を受診する。

質問 前立腺がんの治療中の方から「検診を強く勧奨して欲しい」と言われた。受診を勧める策を聞く。

村長 勧奨については現状とし、いろいろな状況で宣伝に努める。

質問 前立腺全摘出手



男子トイレへサニタリーボックス設置を予定する役場庁舎と保健センター

術後は、しばらく尿漏れパットを使い交換が必要。このため愛知県北名古屋市や扶桑町では、役場庁舎などの男子トイレにサニタリーボックス（汚物入れ）を置いている。当村でも置いたらどうか。

総務課長 男性トイレの汚物入れについて、早期設置に努める。

質問 がんの治療による脱毛や乳房の切除により、外見の変化に悩む患者がいる。群馬県桐生市や東京都台東区では、ウィッグ（かつら）や胸部補正具の購入費を助成している。当村でも行ったらどうか。

村長 他町村の事例や国の動向を注視しながら研究する。

録音機能付き電話機への助成を

答 詐欺被害防止の効果に期待がもてない

質問 「電話で金送れ」などの特殊詐欺被害の村内状況を聞く。

産業振興課長 県消費生活センターで把握する当村の被害は、年度別の被害数と被害額で、令和元年度9件52万円、令和2年度9件32万17万円、令和3年度6件41万円である。

質問 「電話料が安くなるお知らせです」などと語る迷惑電話の、当村の状況を聞く。

道路危険箇所等を、スマホ通報システムで

答 防災行政アプリ「ライブジョン」で行う

質問 愛媛県今治市では、道路の危険箇所や、街灯、公園内遊具の不具合などを、スマホアプリで通報している。当村でも行ったらどうか。

総務課長 今年度導入した防災行政アプリ「ライブジョン」の写真投稿機能を使い、来年度からの実施を考えている。



森林経営管理制度の進展状況は

答 まず堀越の山林3.64ヘクタールの間伐を発注

唐澤 克己 議員

質問 昨今温暖化が深刻化している。その防止策として国が始めた森林経営管理制度の村における進展状況について聞く。意向調査実施済の堀越、河野での山林整備はその後どうなっているか。

産業振興課長 対象森林が広いので、道路沿いを優先して整備していく。村道黒谷線沿いの三次原団地3.64ヘクタール、松茸アーケードから南側を見た斜面の間伐をこの9月に発注した。飯伊市町村初めての事業のため、県との打ち合わせに時間を要した。年度内にもう1箇所事業化する。今年度の譲与税は650万円、これで発注できる山林は13ヘクタールの資金規模では、堀越、河野の委託山林整備を終えるのに数年かかる。

質問 意向調査は他にどこか実施したか。



整備予定の三次原の山の斜面

産業振興課長 していない。堀越、河野の山林整備の見通しがいつてからするつもりだ。今調査しても状況が変わってしまうからだ。

質問 山林整備には所有者の承諾が必要だが、連絡がつかない場合にはどうするのか。

産業振興課長 制度では、山林の経営管理集積計画を6カ月間公告し、その間に所有者が現れない場合においても、都道府県知事の許可があれば事業を実施できる特例措置が設けられている。

要望 地道な整備を、

質問 変化する社会や不透明な未来に対処する教育はまさに。その激務を担う学校を支援するため支援員制度が設けられている。村内の学校における活用状況はどうか。

教育長 現在学校における支援員は、教員業務支援員、特別支援教育支援員、ICT支援員の3種類。教員業務支援員は、先生方が教育指導に専念できるよう、例えばコロナ対策

学校支援員の活用状況は

答 種々の分野に従事し多大な貢献

での器具消毒や給食、印刷業務の補助等に携わる。国の基準では現在南小のみが県費配置のため、北小と中学は村費で対応している。特別支援教育支援員は、特別支援学級のみでなく、通常学級においても、教育活動がスムーズに進行するような業務に当たっている。現在村費で村内の3校に合計6名配置している。ICT支援員は、コンピュータの授業活用ができるよう小学校では南北小兼務で1名、中学校でも1名配置し、今年度はICT関係補助の他、技術科の教科指導も担当している。

質問 今後どのような支援を期待するか。

教育長 学校司書は、現在南小には配置され

ているが、北小と中学が兼務の状態であり、それぞれ配置になれば、指導の充実が期待できる。「心の相談員」は、現在中学校に1名配置され、不登校の生徒の対応等で重要な役割を担っており、小学校から配置の要望が寄せられている。小学校高学年の「教科担任制」が始まったが、「専科教員」の確保等が難しい。また、教育委員会事務局には主任教育指導員がいて様々な問題への対応に尽力しており、この分野においても増員を望みたい。

要望 不透明な未来、不安定な社会を生きる児童生徒の教育には、支援の充実が不可欠。



補助金で伐採した竹林の今後をどう考えるか

答 今後の竹林の姿を提示することが必要

壬生眞由美 議員

年度	申請件数	申請件数(m)
H23	14	10,923
H24	23	18,895
H25	12	9,461
H26	12	10,043
H27	9	14,720
H28	16	14,602
H29	23	20,357
H30	18	13,641
R1	21	19,119
R2	29	17,375
R3	24	15,784

竹林整備補助金交付実績(初回150～350円/㎡)
H28以降 毎年 平均350万円を交付
H23～11年間で201件、延べ16ha超え

質問 森林整備事業支援対策補助金小規模竹林整備の、経過と成果について伺う。

産業振興課長 区、自治会等の要望で平成23年度から制度化。28年度には現行の同一箇所3回までを補助。

質問 とよおか旅時間への竹の搬入は、伐採後、半年以内程度で、長さ約1.8mの竹を、軽トラに積載して1台に1万円を交付。令和3年度は、19件、軽トラ35台分を受け入れている。

質問 足湯で年間必要な竹の量は伐採面積でどれくらいか。

産業振興課長 軽トラ1台分の竹は竹林整備約28㎡相当で、竹ポイラー1週間の燃料になる。竹ポイラー稼働で整備できる竹林面積は、年間1,400㎡程。村全体の整備実績面積の10%程度。供給過多の状況。買取・運搬・管理を含め竹ポイラーの経費は年間130万円。

質問 その他の竹林整備事業の実績は、平成17年度に田村区の荒廃し

た竹林約1ヘクタールを住民、業者、村が協働で竹林公園として整備。(事業費1,500万円の内県の補助金900万円)

現在は、区が皆さんが年5回ほど維持管理作業をされている。広大な急傾斜地で大変な作業と聞く。

質問 長期的には、使用価値を見いだした竹林管理か、自然植生に遷移する管理か、方針を検討する時期ではないか。また、伐採後の竹林の管理用作業路の整備の補助も必要。

専門家の指導による林地管理の実証。育林を促す景観保全手法の検討はいいか。

村長 元気づくり支援金、森林環境譲与税も使える。

複数年単位の専門家の関わりで、今後の竹林の姿を村として提示できることが必要。

まず、今の竹林を地

元が皆さんに、それなりに管理していただくと。同一箇所3回までの補助金も、長く使えるようにしたい。

足湯はどれだけ炊けるかが大事。

農業資材も地産地消 土壌改良材として竹パウダーの活用は？

答 利活用の調査・研究が必要



被圧されていた実生の常緑樹(ツバキやカシが見られる伐竹跡地)

質問 地球温暖化防止の取り組みでは農業分野での貢献も大きい。食べ物を生産する資材も地産地消に再考したい。地産の土壌改良材として、竹パウダーを買い取る事業の進捗は。

産業振興課長 昨年度、竹パウダー軽トラ一杯分1万円の買い取りを制度化したが、バ

ウダー化に1時間半の作業が必要。事業推進には買い取り単価の適正化の検証、利活用の調査、研究が必要。

提案 飯田市のNPO法人では、竹パウダーを使ってジャガイモを栽培する予定。無料で広く皆が使ってもらえることも必要。竹チップは防草用にも使える。



コロナ禍公共施設の利用制限解除はいつ

答 県の対応に準じて様子をみながら解除したい

井原 康明 議員

質問 コロナ対策の環境で村内の公共施設の利用制限が続いているが「ほほえみ・はつらつ・憩いの家」の出入り・会議・入浴について現在どの様な制限状況か伺う。

健康福祉課長 3施設共通して、発熱や風邪等の症状で、少しでも体調に変化がある方、家庭や職場・学校等、身近な場所でも陽性者、濃厚接触者と接触があった方の利用を控えている。また、施設内での飲食はパーテーションを使用して可能だが、今のところ使用例はない状況だ。

お風呂などは、学級閉鎖等が行われている保育園や小中学生には利用を控えていただいている。

質問 同様に「村民体育館・図書館・ゆめあると」についても一般利用やクラブ利用の制限はどの様になっているか。

教育委員会事務局長 現在の県の考え方が、社会経済活動を維持することから、感染防止対策に十分留意い

ただくことにより、以前の様な人数、時間、飲食などの制限はしていない。

質問 公共施設の利用制限が一部継続されているが、今後どの様な状況になれば、利用制限を解除するのか。

健康福祉課長 現在、当村においてもコロナ感染の変動はあるものの、感染の疑いがありそのような方以外は、以前の様な利用制限などかなり緩和されている。

新型コロナウイルスは2類に相当し、5類への見直し中であるが、季節インフルエンザの5類相当になれば各制限など解除になると思う。また、生活に制限はないが、検査・治療の一部公費負担がなくなり、受診控えが心配される。

質問 現在村のリサイクルステーションが、コロナ対応の関係で長期の閉鎖が続いているが、現在の利用制限についてどの様か伺う。

建設環境課長 コロナ感染症の第7波が拡大した7月より、ごぶし園の感染リスクの高い方や、作業をしている



再開に向けた協議が行なわれる

方などへの感染防止のために、受け入れを全面的に休止している。

質問 リサイクルステーションの開設は、障がい者の自立支援と村民の方々の廃棄物処理に関する施策もあり、また、リサイクルステーションの受け入れ現場は、保管は屋内であるが、受け入れ作業は屋外のため、他の公共施設と利用環境が異なる。同じような利用制限は必要と考える。住民の不便さも考慮し、委託先との再開に向けた協議を早急にしたい。

建設環境課長 長野県下の警戒レベルも5に下がったが、依然として感染は収まっていないう状況だ。9月6日に委託先とできるだけ早く再開できるように再開に向けて、感染防止と受け入れ方法について協議をされている。村民の皆様にはまだ迷惑をおかけするが、それまでは自治会のごみ収集庫や地区のステーションなどを利用していただきたいと思う。

質問 地域住民の女性グループからの熱い思いで、当村に子どもカフェ(子ども食堂)があればいいなど2年前より調査研究が行われており、現在の調査研究の過程で利用施設が課

題となっている。ボランティア活動の一環でもあるため、公共施設の一部を貸与してもいいと思うが、貸与することはできないか。

教育長 各課長や担当から聞いているので、私から回答するが、それぞれの施設は、それぞれの目的をもっての施設であり、それぞれの目的に合った団体や利用制限となっている。今回の施設貸与等については現在研究調査中であり、利用人数や開設状況、施設規模などまだ不透明のため、現状では貸与は難しいと考える。

質問 長野県で取り組みをしている「信州こどもカフェ」の施設の中で「地域プラットフォーム」という施策を各団体や市町村に向けて発信されている。これは幅広く子どもの居場所や子ども支援の施策だが、当村での取組の考えはあるか。

副村長 内容は理解するが、説明資料など不足で現時点では取り組み導入や参加は考えていない。



行政の役割と住民負担の軽減

答 事業者委託出来る部分あれば調整したい

前沢 光昭 議員

質問 村内道路の「止まれ」の標示は、公安委員会の管理するものと、道路管理者の管理するものがある。基本的には「止まれ」のひらかな表記は、県、市町村、市町村の管理のものは村が安協に委託して予算の範囲内で役員が修繕作業を行っている。

高齢の方にとっては赤い看板の標識同様重要な表示である。塗装作業は技術もいるし重労働、本来村の仕事であるこの作業を、県の公安委員会同様、業者の委託とすべきではないか。

総務課長 業者委託ができればそれにこしたことはない。しかし規制対象以外に類似の標示は法的対象、事故の際の保険適用の問題があるが、警察では組織の奉仕活動と見て、村の安協がやっているこ

とには警察は強い指導はしていない。しかし、事業者委託できる部分については、安協と相談して村としてできる部分を調整してみたい。

質問 車の交通の激しいところは標示が摩耗して消えているところ、薄くなっているところがある。県道から堀越線入口、商工会前、デイサービスセンター前など多数。年間通じて随時修繕できる体制が必要だ。

総務課長 総務課でも確認した。止まれ文字どいところは消えているところもある。原則、公安委員会、飯田警察署となるが協議の上対応を考えたい。

交通安全施設が総務課でまとめて、警察へ上げるタイミングがあるので積極的に要望したい。

質問 1級河川の草刈

りについても住民負担軽減の立場から聞く。

村内各区域で官設として住民が作業、河川の草刈りは県から区への委託事業として行われている。本来は県の仕事である。地域で対応は違うが、出られない人は不参料（出不足）徴収の地域もあると聞く。

年齢等で出られない人の分もしわ寄せが一部の人にいく。住民負担軽減のため行政の仕事として業者委託にすべきと思うが。

1級河川は県が管理するもの、住民負担軽減の立場から考える時期ではないか。

建設環境課長 環境美化の観点と洪水を未然に防ぐために以前から住民にお願いしている。

議員の言う通り大変な作業ではあるが、村内には1級河川だけでも10河川ある。飯田下



摩耗のばげしい道路の止まれ標示



5年前の補助金、交付規則を整えよ

答 必要性を強く認識、要綱つくる

滝川 利秋 議員

豊丘村補助制度等一覧

(内容)

(定住)
豊丘村若者定住促進奨学金等返還金助成金
住宅用地取得・住宅新増築等助成金(土地)
住宅用地取得・住宅新増築等助成金(建物)
住宅用地取得・住宅新増築等助成金(中古住宅)
若い世代の住宅取得補助金
空き家改修費補助金
空き家仲介手数料補助金

(住宅)
住宅等リフォーム助成金事業
【コロナ対策】住宅等リフォーム助成金事業
診断士による耐震診断事業
耐震改修補助事業
(環境)
太陽光発電システム・蓄電システム設置補助金
家庭用生ごみ処理機購入補助金

福祉・子育て・土木…村のすべての補助金に要綱があります

質問 2017年12月議会補正予算で、小園にあった水稲育苗ハウスの移転費用9100万円の内、3分の1にあたる300万円を、農業総合振興事業補助金として、支給する予算案を村側が提案、議会はそれを議決した。それは既存の村の農業補助金には無いもので、後付けが良いのでこの補助金交付規則をつくるよう要望したが、5年経った今もつくられていない。

村ではすべての補助金に、補助金交付規則を定め運用されている。早急に規則をつくるよう要望する。

ばんき農業を拡充
産業振興課長 公平性・透明性を確保するためには、要綱等により明確にしておく必要があると強く認識して

いる。

今回のように農業振興に係る施設整備については、「ばんき農業支援事業補助金交付要綱」に合致するところが多いので、これを適用し、対象経費や、補助率等について、「ばんき農業審査会」に諮問、必要に応じ要綱も見直していく。



多様な担い手が村農業を支えている

多様な担い手に光を
質問 近所の方に昔から庭先販売しているのは対象にならないのかと、問い合わせがあった。なぜ認定農業者に限定したのか。

内米の購入喚起を促すことで、地産地消の促進と、水田農業の維持を目的として実施するもの。

米に限らず、豊丘の農業を支えているのは、年輩いた父母や、女性達。このような様々な多様な担い手によって村の農業は支えられている。新事業の運用は柔軟に。

産業振興課長 村内の米農家は450軒。農家からの取りまとめ方法など制度設計が複雑。来年度に向け、課題を取り組みを検証し、柔軟に検討したい。

小児コロナ感染時初期対応は 答 まずはおかりつけ医

質問 豊丘の保育園でクラスターが発生した。家庭でコロナかとも症状が出た際の相談窓口はどこか、小児の場合感染しても重症化しないことや、副反応の問題から不安や迷いをもった家庭もあった。実際に感染した人で食料配達支援や薬局の配達はありがたかった。

必要になる。現実的には県ではやってくれないのではないかと。

と聞く。子育て世代に寄り添い今後こういうサービスを望む声もある。

健康福祉課長 予防接種法の立場から、今は小児は強く接種を進めていない。食料配達は店のサービスへの補助、初期の対応についてはホームページや音声で周知している。



三遠南信道路のアクセス路線は

答 県道上飯田線の喬木村小川から喬木インターへ

松下 亨 議員

質問 豊丘村から三遠南信道へのアクセス路線と、浜松方面への乗り入れインターはどこを想定しているか。
建設環境課長 アクセス道路は県道上飯田線、喬木村小川から氏乗を通り矢筈トンネル手前の喬木インターが一番よいルートと考える。
質問 この道路は谷底で非常に狭い上、約10メートルあり改良にはハ

ドルが高い。いかにして実現するか。
建設環境課長 現在、喬木村・豊丘村・飯田市他で期成同盟会を組織し、改良促進に向けて取り組んでいる。
質問 三遠南信道は工事が着々と進んでいる。この道の早期改良に向け強力な運動を。村長 この道路の重要性に鑑み全力で取り組んでいく。

広域行政情報の提供拡充を 答 広報等で対応を検討する

質問 南信州広域連合や北部総合事務組合では広域にまたがる重要な事業を行っているが、情報提供が不足している。広報とよおかに専用ページを設け随時、情報提供しないか。
総務課長 関係機関と調整して、できる範囲で対応を検討したい。
質問 リニア長野県駅と関連施設の全体設計

多様な就農者への支援拡充を 答 一般農業者支援を検討する

質問 農業後継者の不足が懸念事項になっているが、最近、脱サラや定年退職者の規模拡大など明るい兆しが見えている。一方、それら農業者に対する支援策が乏しい。農業後継者支援事業について、認定農業者以外も対象にしないか。
また、飯田市で行っている意欲ある農業者に対する支援事業を当



狭く崩落の危険がある県道上飯田線（小川～氏乗間）

村でも実施しないか。
産業振興課長 農業後継者支援事業は認定農業者の後継者を支援する制度。しかし、多様な農業者が増えている現状から一般農業者などへの拡大について検討したい。
また、意欲ある農業者に対する支援事業について、飯田市の状況も確認している。幅広い農業者を支援する事



活水器を村内全ての水道に設置を

答 しばらく待っていただきたい

唐澤 健 議員

質問 村内の水道に、活水器が林里から山田までの地区に供給する系統に設置され、2年経過した。これらの地域のアンケート調査は。
建設環境課長 アンケートは、配水する地区の約3分の1に当たる100戸に実施しています。アンケートの内容は「活水器の設置前と設置後において水道水に変化がありましたが」という設問に「はい」と回答した方に対して、変化を感じている項目について回答をもとめ「水廻りの白い結晶物が減少した」「ポット・やかんの白い結晶物が少なくなった」「水道水がまろやかになった」などで該当する項目に丸を記入してもらっています。
質問 この活水器は、ステンレス筐体の中に、特殊なセラミックスボールを入れ、製品

秒12cm/秒で通水し、水とセラミックスが触れ合い、水側を＋（プラス）に帯電させ、ステンレス付着防止、配管の腐食防止、スメリの付着防止等の効果を発揮するものです。
私の聞き取りでも、山田の女性2名の方もスケールの付着はなくなったと聞きまし。林原の施設でも、湯沸かしポット3個の内、1個は4年前から使用し、ポット内のステンレスが真っ白で、2個は、昨年10月から使用し、ステンレスは新品同様と聞きました。村民には、等しく活水器

休校・休園の賃金補償を村で 答 村への問い合わせは、県に伝える

質問 保育園・学校の休園・学級閉鎖があり、パート勤務の保護者は生活に影響は避けられません。
もちろん、国の制度

の設置した水道水を供給すべきです。
村長 現在、行っているアンケートの結果を検証します。総合的な知見の中で研究を進めます。
質問 昨年度の予算の執行状況を見ても10億円以上の繰越金で、そのうちの10%を使えば全ての水道施設に設置できます。前武田課長と村長の英断で1器設定できて、その効果もいろんな方からいただいています。全村民に効果を波及すべきです。村長 もう少し時間をいただき、しばらくお待ちいただきたい。

介護施設に電気料金の補助を 答 他も含め、バックアップを考える

質問 はやしの杜で昨年の8月の電気料金に比べると42.9%単価が上がり、一カ月で32万円も増加しています。介護施設は利用者にと転嫁できず、施設運営に死活問題となっています。

村内の介護施設への電気料金の補助が必要です。
村長 介護施設のみというのではなくて、そういうものに対してのバックアップというものを行政とすれば考えていかなければいけない。

総務課長 国の休業補償がお困りの皆様に支給されない状況で、村の方に声が届くようであれば、国の出先機関である長野労働局に対



意見 村民の皆様が村の総務課の方に、私のところは事業主がやってくれないという声を是非届けて、村に対応してもらいたい。
意見 村民の皆様が村の総務課の方に、私のところは事業主がやってくれないという声を是非届けて、村に対応してもらいたい。

「教育機会確保法」について 陳情1件が採択された

社会文教委員会 委員長 唐澤 健

陳情第1号「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の提出を求める陳情を、2日間にわたり審査し、全会一致で採択されました。

陳情者
飯島町…宮下愛様
豊丘村…武田富美子様

陳情内容
1. 教育機会確保法の「不登校児童生徒が、いわゆるフリースクール等の学校以外の場において行う多様な学習活動に対し、その負担の軽減のための経済的支援の在り方について検討し、その結果に基づき必要な財政上の措置を講ずること」を進めること。

2. いわゆるフリースクール等民間施設の設立及び運営補助金等の経済的支援制度の確立を講ずること。

審査（1日目）
宮下参考人 全国における不登校児童生徒の数は年々増加していき、県内においても

例外ではない。お母さんたちのネットワークによるネットワークなど、不登校にもかかわらず登校渋りなどが増加していること聞きまし。学校に行かない権利は認められているが多様な学習機会が提供されるという場の整備に、とって何が今必要な支援なのかを当事者に聞く、経済的な援助があればやりやすい。場所の設置もそうですが自分が通わせるという選択肢も増える。国からの通達と現場の間にはギャップがある。このギャップを埋めるために確認する国の支援をしていただきたいというのが今回の陳情の主旨です。

質疑 必要な資金が確保できず設立を断念している個人や団体が少なく、としているがあるのか。
宮下参考人 データといたうよりは、以前高遠にあったものが無くなっていることや伊那市にフリースクールと

位置づけられているオルタナというのがあるが、今年で補助が打ち切られ、来年からどうしようかという現状がある。それがベースとあって書いている。

質問 対象者や教育委員会から財政的に厳しいという声は聞かれていないか。
宮下参考人 中川村で、九州でフリースクールをしている人に来てもらって、フリースクールをやりたい人の集まりがあって、伊那市から下條村までの30人が集まりました。ほとんどが子育て世代のママさんでした。行政に働きかけることを知らない人たちがした。陳情を出しても、陳情を出しても賛同してくださる方が200人近く出ました。議会に声が届いていないかと思いましたが、（参考人退出）

委員長 教育委員会から村の実態を報告してもらいます。
教育委員会事務局 豊丘から3つの施設に

通っています。松川町のHug（ハグ）に1名、飯田市の太陽学園に1名、高森町のはなぶさ学園に1名通っています。週1日からフルに週5日です。中間教室「みちくさ」には、塩沢先生に対応していただき6名来ています。

質問 フリースクールの出席扱い。
教育委員会事務局 今現在、学校では認めていない。

議員 質疑がなされたが、審議不十分で継続審査になりました。

審査（2日目）
委員長 本日は3人の委員より委員会の開催要請があり開催することになりました。理由については井原委員より説明願います。

井原委員 この間調べる中で、特に反対する要素もないし、不透明なところは検証する意図もありました。特に記書きの2番については実証が困難という結論になりました。今日改めて審査願えればということですが。



村の児童生徒支援施設「フリースペースみちくさ」

デジタル 育休 条例改正を審査

—— 国の法改正に伴う2件 ——

総務産建委員会 委員長 滝川 利秋



2件の条例改正議案が、総務産建委員会に付託されました。

どちらも国の法改正に伴う条例改正で、審査の結果、委員会は採択しました。

マイナンバー使った手数料納付もオンライン可

議案名
豊丘村行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

概要
国が平成15年に「行政手続きオンライン化法」を制定、書面で行う行政手続きをオンラインでも行えるようにした。その後、国は令和元年、その法律を「デジタル行政推進法」と名称を変更。

デジタル技術活用推進を基本に、本人確認等をオンラインで可能とした。これを受け村

でもマイナンバーカードを使った申請や、手数料納付もオンラインでできる様加えたもの。

Q 「署名や押印について、マイナンバーカードをもって代える事ができる。」とは。
A マイナンバーを使えば電子署名が付与。

審査結果
全会一致で可決。

議案名
職員の子育休休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案の概要
令和4年3月議会で、出産・育児と仕事の両立支援を目的とした国の法改正に合わせ、非常勤職員の育児休業等の取得要件緩和の条例改正を行ったが、今回も国の法改正に伴い、非常勤職員の育児休業

農業振興(農業基本)条例策定に向けて取り組みがスタートします

貴重な自然である農地・農業を守ると共に農業の抱える様々な課題に対し村民の理解を得ながら、農業を永続的に育成することをめざして条例制定が必要と、議会が村へ要望し、村が条例策定に向け、動き出すことになりました。

●条例名は、「農業振興条例」または「農業基本条例」で検討中。

●農業団体等による検討委員会を計画。

用が困難な部分に問題があるのでは。

意見
育休のための条例改正が中心テーマ。再任用に関しては、分けて考えなくては。

意見
国の法改正を受けての例規整備はできるが、運用の難しい実態を知った。

意見
条文も大事だが、取得しやすい運用が、なお、大事なこと。

審査結果
全会一致で可決。

特別職報酬等審議会の答申出される 議員報酬増額と共に議会への期待を込めて

議会改革検討委員会 委員長 平澤 恒雄

本年6月30日議会は、村長に対して議員報酬を審議する特別職報酬等審議会の開催を要望しました。これにより村は特別職報酬等審議会を開き、8月9日審議会から村長へ議員報酬増額の答申が出されました。これを受け、村は議員報酬を増額するための「議員報酬等に関する条例の改正案」を提出し、8月31日議会にて可決されました。

以前にも特別職報酬等審議会の開催を要望

平成31年3月に議会から村長に特別職報酬等審議会で、議員報酬を審議するよう要望しています。これを受け村長が審議会に、特別職の報酬について諮問しました。審議会から令和2年2月に答申が出され、村長・副村長、教育長の給与月額と民生児童委員の年額報酬

議会は令和3年3月、議員定数14を2減らし12とするための、議会の議員の定数を定める条例の改正案を提出（議員発議）し可決

しました。これにより次回（令和5年4月）の村議会議員選挙から、議員定数が12となりました。



一般質問のテレビ放送を見ていただけるとうれしい

冒頭書きました経過により、8月9日議員報酬増額の答申がありました。

その理由として

- 1、議員報酬月額が平成15年から19年間据え置かれてきたこと。
- 2、次回選挙から議員定数が14から12へと2減されたこと。
- 3、県内町村の議員報酬の平均月額や地

域の社会情勢を考慮したことが上げられました。

月額報酬は

議長 25万5,000円を26万5,000円に、副議長19万円を19万4,000円に、常任委員長16万3,000円を17万8,000円に、議会運営委員長15万7,000円を17万2,000円に、議員15万3,000円を16万8,000円にするとしようものでした。

答申で議会への要望をいただく

- 1、議会の活動状況や対応方針を丁寧に住民に発信し、報酬の引き上げについて住民の理解が得られるような議会・議員活動に努められたい。
- 2、若い世代の村民も参画でき、活動しやすい議会の対応・仕組み、報酬のあり方について、引き続き検討されたい。
- 3 議員と地域が連携、協力し、より良い村づくりに資する体制づくりにについても検討されたい。

と記されています。今後どのようにすることが必要に思われることなのか、検討してまいります。

北部ブロック要望活動



橋完成まで続けられる要望活動

「竜神大橋」については、平成29年に県より事業化が決定され、既に工事が着工されているが、完

成までは要望活動を継続する様、村と歩調を

『堤防道路を活用したサイクリングロード整備を』

昨年の要望活動で、天竜川左岸（松川町宮ヶ瀬橋から龍江まで）の堤防道路も右岸同様

にサイクリングロードとして指定するよう要望したが、今年1月31日付で（仮称）天竜川周遊サイクリングコース」として告示認められた。

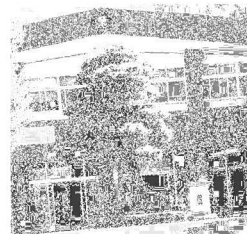
それを受け、今年は

- ①天竜川堤防道路と、県道との交差点部へ減速を促す表示の設置。
- ②堤防道路内に、自転車路線表示など自転車通行の安全確保を求めた。

総務産建委員長 滝川 利秋 『竜神大橋の早期完成を』

合わせ、毎年要望活動が続けられている。今年の要望内容では、昨年度の工事の進捗状況と、今年度の予定されている工事内容を説明、橋が地域活性化につながるとして、早期完成と必要予算の確保を要望した。

社会文教委員長 唐澤 健 県への要望を2件提出



南小学校

【議題】学校図書館（室）利活用のための支援強化について

【提案内容及び要望】

学校図書館は読書だけでなく、広く授業や学習活動に生かしていくことが求められている。

司書教諭がいる多くの学校が、図書館業務は不可能な状態。これは、兼務発令であるため、司書教諭が職務に専念する時間を確保するためには、授業時間数の軽減などの措置が必要。

学校図書館は学習指導要領にも位置づけられ、司書教諭・学校司書は学校図書館の利活用には欠かせない。よって、学校規模の大小に係らず配置できるように以下の予算措置を願う。

記

- 1、司書教諭は県費で、12学級以上の配置義務学校に、授業時間の軽減できる配置をされた。
- 2、学校司書は地方交付税措置で不足する財政支援を県費で、全ての義務教育学校に1名配置を。

【議題】小中学校教育体制の支援強化について

【提案内容及び要望】

特別支援学校の1クラスの児童生徒数が多くなり、市町村費任用の「特別支援教育支援員」により学習活動が成り立っている現状がある。さらに、通常学級においても、個別に介助・支援が必要な障がいを持つ児童生徒も増加しており、「特別支援教育支援員」の助けを必要とする学級が増えている。以上のことから、教員の長時間労働が問題化している中、「働き方改革」の一環として、教員の負担軽減のために、以下のことを要望する。

記

- 1、「特別支援教育支援員」について、国の地方財政措置とともに県独自の増員配置をすること。
- 2、「教員業務支援員」について、全ての学校に必要とする人員を配置するための、県の財政支援をおこなうこと。

秋の風物詩

野山の紅葉が美しい季節になりました。爽やかな秋です。田んぼでは稲刈りが、畑では果物の収穫が大変忙しい季節であります。村内を巡り、田畑で秋を彩る情景を3点ほど撮影させていただきました。表紙に掲載いたしました伴野区敬老会の写真の説明とともに、掲載いたします。

表紙の写真の説明

9月19日、伴野区敬老会の写真です。地区での敬老会としては当時は珍しく、平成22年度から今回で13回目になります。写真は「サロンおいでなんしょ小園」の皆さんと、参加者が一緒になって楽曲パブリカに合わせた体操の場面です。

リンゴ「秋映」とり



“見事なリンゴですね”
—9月25日、高い枝から慎重に、河野新田にて中部二自治会の代田正さんとお母さんのほなみさんです。縦100cmの長いわい化畑30㎡に、シナノリップ、つがる、秋映を栽培されておられます。

栗拾い



“でかいのが拾えましたねえ”
—9月7日、雨天、早朝、林原にて「林原栗の里組合」の栗の収穫です。地域の方々5名ほどで、村内数か所にある1町歩ほどの栗畑を管理されておられるとのことでした。



“いい色に実ってますな”
—9月29日、午後、晴天—
村道電東一貫道路沿いの水田で撮影しました。爽やかな青空と白い雲の下、稲の黄金色がまことに鮮やかでした。ぜひ豊作をお祈りいたします。

稲刈り

下伊那北部5町村議会 地域の懸案事項を要望 長野県議会正副議長及び関係委員長、県建設部へ提出す

下伊那北部ブロック町村議会 片桐 忠彦



長野県議会正副議長へ要望内容の説明

提出先は、県議会関係では、丸山栄一議長、高島陽子副議長に、さらに今年には要望に関係する堀内孝人危機管理建設委員長、花岡賢一県民文化健康福祉委員長、小山仁志農政林務委員長、寺沢功希環境文教委員長全員に、下伊那出身議員からは、飯島飯田線飯田以北の整備促進、ICT活用の授業支援を、更に南信州に子供専門病院を。喬木村からは、森林整備事業の推進を、給食費物価の高騰値上げ分助成を、更に運動部活地域移行に伴う支援を。大鹿村からは、松川インター大鹿線の拡幅と法面の防災を、国道1552号通年通行確保が要望内容となっています。これらを当番議会である大鹿村議会がとりまとめ、要望書としました。

今年も下伊那北部5町村議会、各町村における懸案事項をまとめ県議会及び長野県に要望を求める要望活動を県議会開会日の9月22日に行いました。豊丘村からは4件（要望内容は、本紙22ページに記載）他の町村から9件の要望がありました。

提出先は、県議会関係では、大鹿村議長が代表し全箇所の概要を説明し、対応を求めました。その際には、下伊那選出の4人の県議にも同席をいただき、ご助言をいただきました。知事部局では、日程の都合で建設部関係のみとなり、田中衛建設部長に、関係課長同席のもと概要説明し要望しました。その後関係課長より若干の状況説明をいただきました終了しました。



寺沢環境文教委員長へ（各町村分担し実施）

南信州広域連合から

南信州広域連合議会 片桐 忠彦

信州大学誘致について

引き続き誘致に取り組む考えを示した。
ご当地ナンバーについて

南信州広域連合令和4年度第2回臨時会が8月22日に開催され、その折に連合長の挨拶の中で、信大誘致の状況について触れられていますので報告します。

本年6月30日に信州大学中村教授が当地域に來られ、新学部の検討状況についての話をされた。内容は、養成する人材像や新学部設置目的等学内で慎重に議論したうえで、立地について検討していくとのこと、今後方向性が決まった段階で改めて説明することであったが、その後の説明はまだない。

広域連合としては、大学の方針・方向が見えない中、具体的な動きはできないものの、

は、令和4年11月国に導入意向表明書の提出、令和5年1～2月頃住民及び事業者第2回アンケート実施、令和5年中に図柄等決定、最終令和7年の導入を予定している。



豊丘議会だより
第100号 9月定例会
令和4年10月20日

発行／長野県豊丘村議会
編集／広報広聴委員会広報部
印刷／龍共印刷株式会社

豊丘村議会

検索



「Nao設備」 宮下直也さん（右から2人目）
新築の家の前でご家族と

関わらせて頂いた方に
喜んでもらえるような
仕事をしたい

堀越、中宮自治会に

お住まいの、宮下直也
さんをご紹介します。

宮下さんは、「Nao
設備」を経営され、配
管設備の仕事をされて
います。リフォーム助
成金受注可能業者にも
なっています。近所の
空き地を借り、資材倉
庫、機材置き場として、
事業拡大し頑張ってお
られます。住居兼事務
所のお宅を昨年5月に
新築され、奥さんと娘
さん、お母さんと一緒
に住んでおられます。
直也さんにお話を伺い
ました。

〈独立した時期や、起
業のきっかけは〉

2006年3月、勤
め先の業績悪化を機に
独立を決意しました。
〈どのような仕事をさ
れていますか〉

住宅の新築やリ

フォーム、工場設備の
工事、上下水道などの
敷設の仕事です。最近
ではセブンイレブン豊
丘店の設備工事をやら
せてもらいました。

〈趣味や、楽しみなど
ありますか〉

忙しいので…今の
所、仕事に興味でしよ
うか（笑）。工事に関
わらせて頂いた方に喜
んでもらえると嬉しい
です。一人娘の成長が
楽しみです。

〈村に対する思いや要
望などありましたら〉

水回り（システム
キッチン、風呂など）
の工事には大金がかか
るので、なかなか工事
に踏み切れない方がい
ます。村でもそこら辺
を考えていただけたら
ありがたいです。

編集後記

何時も「議会だより」をご
愛読頂きありがとうございます。

○止まらない

ロシアによる戦争で侵攻
が止まらない。

・新型コロナウイルスの感染拡大
が止まらない。

・物価高騰が止まらない、
安定を祈るばかり。

○止まった

・昨年好調の松茸、今年も
出足が期待されたが秋彼
岸すぎたら止まったか？
期待は継続。

○再開予定

・久しぶりに24時間ソフ
ト、敬老会、とおかまつ
り、家庭ごみ受付などの
自粛行事が再開される予
定で、以前の生活に戻り
つつあり、住民の安堵し
た顔が伺える。
編集にあたり取材にご
協力頂き感謝を致します。
今後ともご意見をお待ちし
ています。

（井原康明）

発行責任者

議長 片桐 忠彦

広報部会

部長 唐澤 克己

副部長 壬生真由美

部員 武田 篤子

部員 吉川 明博

部員 井原 康明

部員 平澤 恒雄

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村大字神橋3120番地
TEL.0265-35-9063 FAX.0265-35-8355
Eメールアドレス gikaj@vill.nagano-toyooka.lg.jp